

各高等学校長 様

栃木県高等学校体育連盟会長 大牧 稔
〈公印省略〉
栃木県高体連柔道専門部長 吉田 嘉宏
〈公印省略〉

令和6（2024）年度栃木県高等学校新人柔道大会兼第2回関東高等学校選抜柔道大会栃木県予選の開催について

標記大会を下記のとおり開催することといたしました。

つきましては、貴校関係職員（部活動指導員等）・生徒の参加について特段の御配慮をお願いいたします。

記

- 主 催 栃木県高等学校体育連盟 栃木県教育委員会
- 共 催 栃木県柔道連盟
- 主 管 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部
- 期 日 令和6年 9月28日（土）開場8：00 個人試合 審判監督会議10：00予定
令和6年11月16日（土）開場8：00 団体試合 審判監督会議 9：30予定
- 会 場 ユウケイ武道館（栃木県総合運動公園内武道館 栃木県宇都宮市西川田4-1-1 TEL028-684-2200）
- 競技方法及び規定
 - 審判は国際柔道試合審判規定（最新版）並びに、全国高等学校体育連盟柔道専門部及び栃木県高等学校体育連盟柔道専門部申し合わせ事項によって実施する。
 - 団体試合男子はトーナメント方式、女子はエントリー数に応じてリーグもしくはトーナメント方式とする。個人試合は全てトーナメント方式とする。
 - 試合時間は全て3分とする。延長戦（ゴールデンスコア：以下GS）は時間制限を設けない。
 - 優勢勝ちの判定基準について
 - 団体試合は、「技あり」または「僅差」以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手をその対戦に出場した選手から任意で選出して代表戦を行う。代表戦で得点差が無い場合は延長戦（GS）により勝敗を決する。延長戦（GS）における優勢勝ちの判定基準は、「技あり」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決する。「技の内容」と「指導」の重みは、【一本＝反則勝ち＞技あり＞僅差】とする。「僅差」は指導差2とする。
 - 個人試合は、「技あり」または「僅差」以上とする。技による得点が同等の場合は延長戦（GS）を行い、「技あり」以上または指導差が出た時点で勝敗を決する。「僅差」は指導差2とする。
 - 団体試合の代表戦及び個人試合において、反則累積による「両者反則負け」になった場合はスコアをリセットし、延長戦（GS）において勝敗を決する。延長戦（GS）で反則累積による「両者反則負け」になった場合はスコアをリセットして再度延長戦（GS）を行い、必ず勝敗を決する。
 - 団体試合における勝敗の決定について
 - 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ①で同等の場合は、「一本＝反則勝ち」の多いチームを勝ちとする。
 - ②で同等の場合は、「技あり」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
 - ④③で同等の場合は代表戦を行う。
 - 団体試合の5人戦及び女子、個人試合男女は順位決定戦を行う。団体試合3人戦及び個人試合無段の部は順位決定戦を行わない。
 - 団体試合における順位決定戦について
 - 男子は、準決勝で敗退したチームで3・4位を決定する。また、準々決勝で敗退したチームがブロック毎に対戦し、勝者と敗者で対戦して5～8位を決定する。
 - 女子トーナメント方式は、準決勝で敗退したチームで3・4位を決定する。
 - リーグ方式も「（5）団体試合における勝敗の決定について」に準じて順位を決定する。尚、全ての試合が終了して順位が決定できない場合は、専門委員会の責任で抽選により順位を決定する。
 - 個人試合における順位決定戦について（男女共通）
 - 準決勝で敗退した選手で3・4位を決定する。
 - 準決勝に進出した選手に敗退した選手がブロック毎にトーナメント方式で対戦し、勝者で5～8位を決定する。

- 7 参加資格 (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校および中等教育学校・高等専門学校に在籍する生徒。
及び制限 (2) 栃木県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒および中等教育学校・高等専門学校に在籍し、
(公財) 全日本柔道連盟に令和6(2024)年度登録している者。
(3) 平成18(2006)年4月2日以降に生まれた者。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
(4) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
(5) 外国人留学生は卒業を目的として入学していること。短期留学の者の参加は認めない。
(6) 選手は、事前に健康診断を受け、当該学校長の承認を必要とする。
(7) 団体試合について

【男子】※5人戦及び3人戦

- ① 1校1チームの参加とし、全・定・通の混成は認めない。
- ② 5人戦のチームの人員については、監督1名、選手7名の計8名とする。但し、選手が3名から4名の場合は、後ろ詰め(先鋒・次鋒、もしくは先鋒を空ける)とする。選手の人数が3名に満たない場合は3人戦の出場を推奨し、合同チームは認めない。
- ③ 3人戦のチームの人員については、監督1名、選手4名の計5名とする。但し、選手が2名の場合は、後ろ詰め(先鋒を空ける)とする。選手の人数が2名に満たない場合は合同チームでの出場を推奨する。

【女子】

- ① 1校1チームの参加とし、全・定・通の混成は認めない。
- ② チームの人員については、監督1名、選手4名の計5名とする。但し、選手が2名の場合は、後ろ詰め(先鋒を空ける)とする。選手の人数が2名に満たない場合は合同チームでの出場を推奨する。

【共通】

- ① 選手の配列及び体重の制限は無い。また、試合毎のオーダー変更可とする。但し、選手が欠場し、補充をしないで試合を行った場合は、以降の試合も補充はできない。
- ② 参加申込後の選手の変更は、大会当日の審判監督会議までに校長の証明書を添えて申し出た者のみ認める。選手変更には制限は設けない。
- ③ シードは同年度全国高等学校総合体育大会柔道競技栃木県予選会の結果から、男子は各支部新人大会の結果を反映する。「シード権について」参照※1(同年顧問会議配布資料及び栃高体連柔道専門部ホームページ確認)
- ④ 外国人留学生のチーム人員は、男女ともに1名以内とする。
- ⑤ 合同チームは申込に応じて専門委員会で決定する。尚、勝ち上がりは無しとする。

(8) 個人試合について

【男子】 体重区分は次の7階級とする。(60kg・66kg・73kg・81kg・90kg・100kg・100kg超の各階級)

【女子】 体重区分は次の7階級とする。(48kg・52kg・57kg・63kg・70kg・78kg・78kg超の各階級)

【男女共通】

- ① シードは同年度全国高等学校総合体育大会柔道競技栃木県予選会の結果を反映する。「シード権について」参照※1
- ② エントリー数に制限は設けない。但し、無段の部との重複参加は認めない。
- ③ 選手の変更は、組合せ抽選の前日までに専門委員長に申し出る。様式は団体試合に準ずる。
- ④ 外国人留学生の参加人数の制限は設けない。
- ⑤ 各階級上位男子4名、女子3名は同年関東高等学校選抜柔道大会の出場権を与える。但し、同一校からの出場は各階級2名以内とし、上位3名以上が同一校だった場合は、男子5～8位、女子4～8位の選手に出場権を与える。尚、上位8名で出場者が決定できない場合は、専門委員会で協議して決定する。

【無段の部】

- ① 男女個人試合との重複参加は認めない。
- ② 男女別、階級別とする。尚、体重区分については、申込書に記載された体重から専門委員会が安全に配慮して決定し、組み合わせによって発表する。但し、申込人数によっては階級別を実施しないこともある。※原則、計量は行わない。
- ③ シードは設けない。
- ④ 関東高等学校選抜柔道大会の出場権は無い。

- 8 引率 引率責任者は、校長が認める当該校の職員とし、選手のすべての行動に責任を負うものとする。また、校長から引率を委託された「部活動指導員」(学校教育法施行規則78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委託する場合は栃木県高等学校体育連盟に事前に届け出る。

- 9 計量 (1) 予備計量：9月28日(土) 8：30～9：00
本計量： 〃 9：00～9：50(変更がある場合は放送で周知する)
(2) 場所；男子→倉庫2 女子→女子更衣室
(3) 回数：2回まで認める。計量に合格できないものは出場できない。

(4) 計量時の服装については、原則として男子は短パン（またはスパッツ）のみ、女子は上がTシャツで下が短パン（またはスパッツ）とする。

10 参加申込 (1) 申込み方法及び申込先

① 栃高体連柔道専門部ホームページより申し込みファイル(EXCEL形式)をダウンロードしてデータを入力し、プリンターで印刷したものを郵送すること。校長及び顧問印の無いものは受付けない。

〒320-0846 栃木県宇都宮市滝の原 3-5-70

栃木県立宇都宮高等学校 市川敦敏 宛て郵送※FAX 及び使送不可

② データを入力した申込みファイル(EXCEL形式)を電子メールに添付して送付すること。

hirano-s01@tochigi-edu.ed.jp 栃木県立烏山高等学校 平野聖 宛て

(2) 申込締切日 ① 個人試合 **令和6年 9月19日(木) 必着**

② 団体試合 **令和6年11月 7日(木) 必着**

※(1) ①、②ともに行うこと。

※以後の申込は一切受付しないので、余裕を持って申込みすること。

(3) 不参加は委員長((1) ①) にメールで伝えること。 ichikawa-a01@tochigi-edu.ed.jp

11 参加料 3,000円(9月28日受付で納入、男女で出場する学校は6,000円)

12 組合せ 専門委員会の責任抽選によって決定する。抽選結果は栃高体連柔道専門部ホームページで発表する。

個人試合：令和6年 9月24日(火) ※ 9月25日(水)以降に発表する。

団体試合：令和6年11月12日(火) ※ 11月13日(水) //

13 安全管理 大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については「栃木県高等学校体育連盟危機管理マニュアル」に則り、適切に対応する。

14 その他 (1) 第2回関東高等学校選抜柔道大会は令和6年11月8日(金)～10日(日)横須賀アリーナ(神奈川県横須賀市不入斗町1-2)で開催する。

(2) 専門部委員会は9月24日(火) 9:30～、11月12日(火) 13:30～ユウケイ武道館会議室1で開催する。

(3) 個人試合に参加する学校は「令和6年度第2回関東高等学校選抜柔道大会分担金」を参加費とは別に申込人数×1,000円を9月28日(土)受付で徴収する。

(4) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、必ず脳神経外科の診察を受けて出場の許可を得ること。

② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。至急、専門医(脳神経外科)を受診すること。

③ 練習を再開するには、必ず脳神経外科の診察を受けて許可を得ること。

④ 当該選手の顧問は、大会事務局および(公財)全日本柔道連盟に書面により事故報告書を提出すること。

(5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

(6) 柔道の安全指導第6版(全柔連)、初心者事故防止の徹底事項「6か月程度の十分な練習期間を設け、受け身や基本動作に成熟し、試合等も攻防に対応できる体力が備わるまでは大会等の対外試合に参加させない」を順守すること。特に無段の部の参加に関しては、各校顧問は「柔道の安全指導第6版(全柔連)」を踏まえて参加の有無を判断すること。

(7) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(IJF赤ラベル・赤認証ラベル)と帯(IJF赤又は青ラベル・赤又は黒認証ラベル)を着用すること。女子の黒帯は白線入りを不可とする。氏名・所属校名が入ったゼッケンを縫い付けた柔道衣を使用すること。

(8) 団体試合出場校は試合当日の受付(審判監督会議の前)で初戦のオーダー表を提出すること。オーダー表は栃高体連柔道専門部ホームページからダウンロードすること。その後は変更毎に提出すること。

(9) 大会参加には、本人および保護者の同意を得ること。

(10) 8:00開場後、直ちに試合会場の準備を行う。

(11) 肖像権の取り扱いについては「栃木県高等学校体育連盟主催大会における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」に準ずる。

(12) 新型コロナウイルス感染症の感染状況等により大会内容等が変更となる可能性がある。変更等がある場合は栃高体連柔道専門部ホームページ等を活用して周知する。

(13) 栃高体連柔道専門部ホームページアドレス及びQRコード

<http://tochigikoutairen.judo.info/index.html>

※各種大会に関する情報等を掲載するので確認すること。



栃高体連柔道専門部
委員長 市川敦敏
栃木県宇都宮高等学校
TEL 028-633-1426